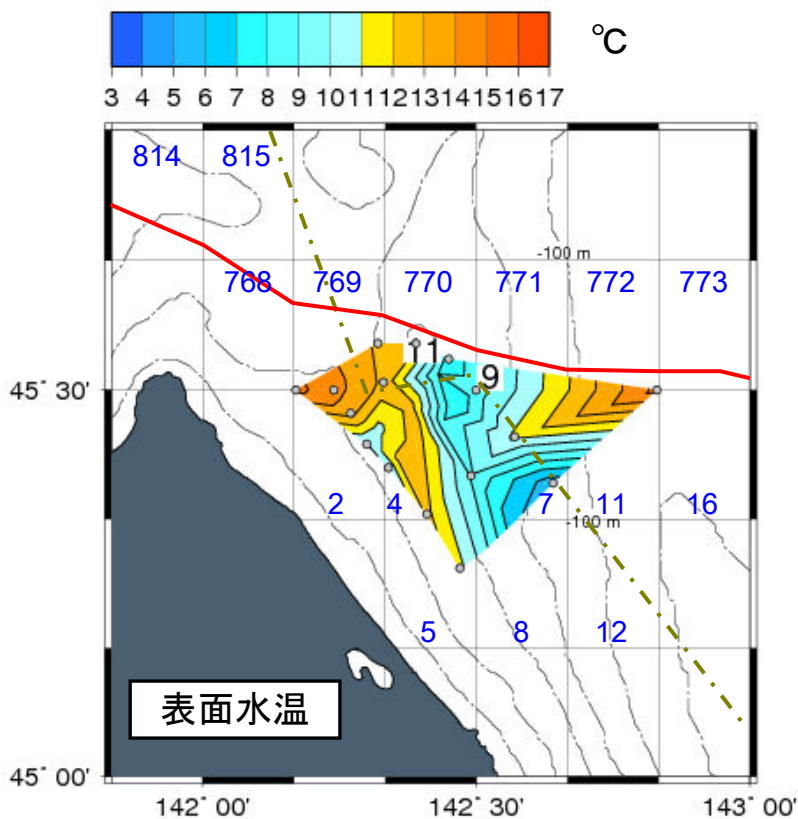


# イカナゴ情報(2010年7月)

平成 22 年 6 月 28 日, 稚内水産試験場調査研究部, Tel 0162-32-7166, 担当: 板谷

イカナゴ漁場にて 6 月 21 日に北洋丸にて観測した, 水温情報と魚探調査結果を報告します。

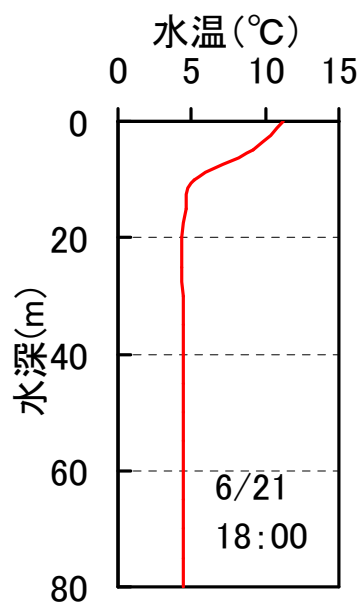
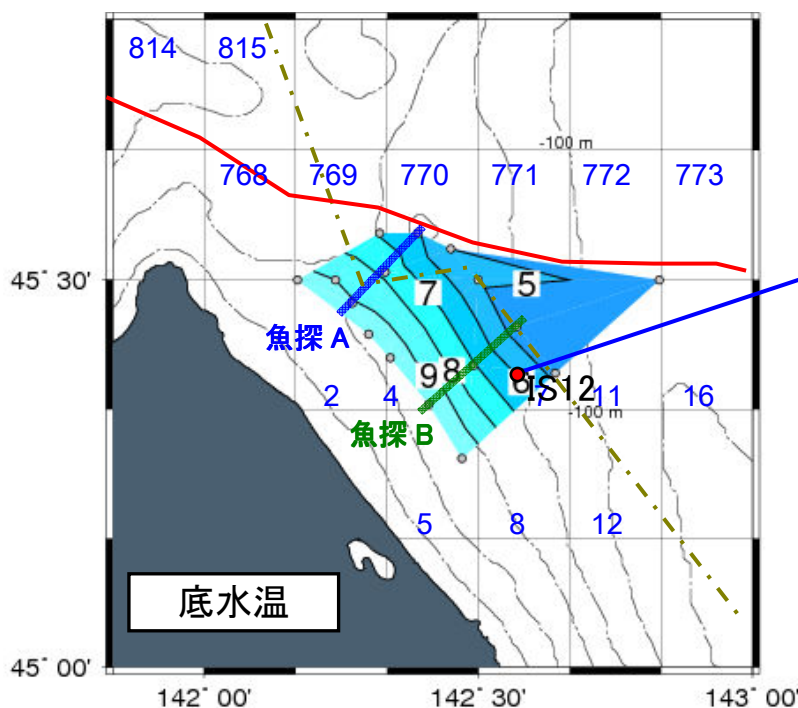


## 【水温】

オッタートロールの漁場となるポケット海域 (769, 770 漁区) の水温については表面水温は 9~13°C で西側で高く東側で低くなっていました。底水温は 5~8°C で西側で高く東側で低くなっていました。

かけまわしの漁場となる猿払沖 (4, 7 漁区) の水温については, 表面水温は 5~12°C で, 南東側でやや低くなっていました。底水温はポケット海域と同様に 5~8°C で, 西側で高く東側で低くなっていました。

イカナゴの漁場では, どの海域も中層への冷水 (マイナス水温の水塊) の差し込みは見られませんでした。

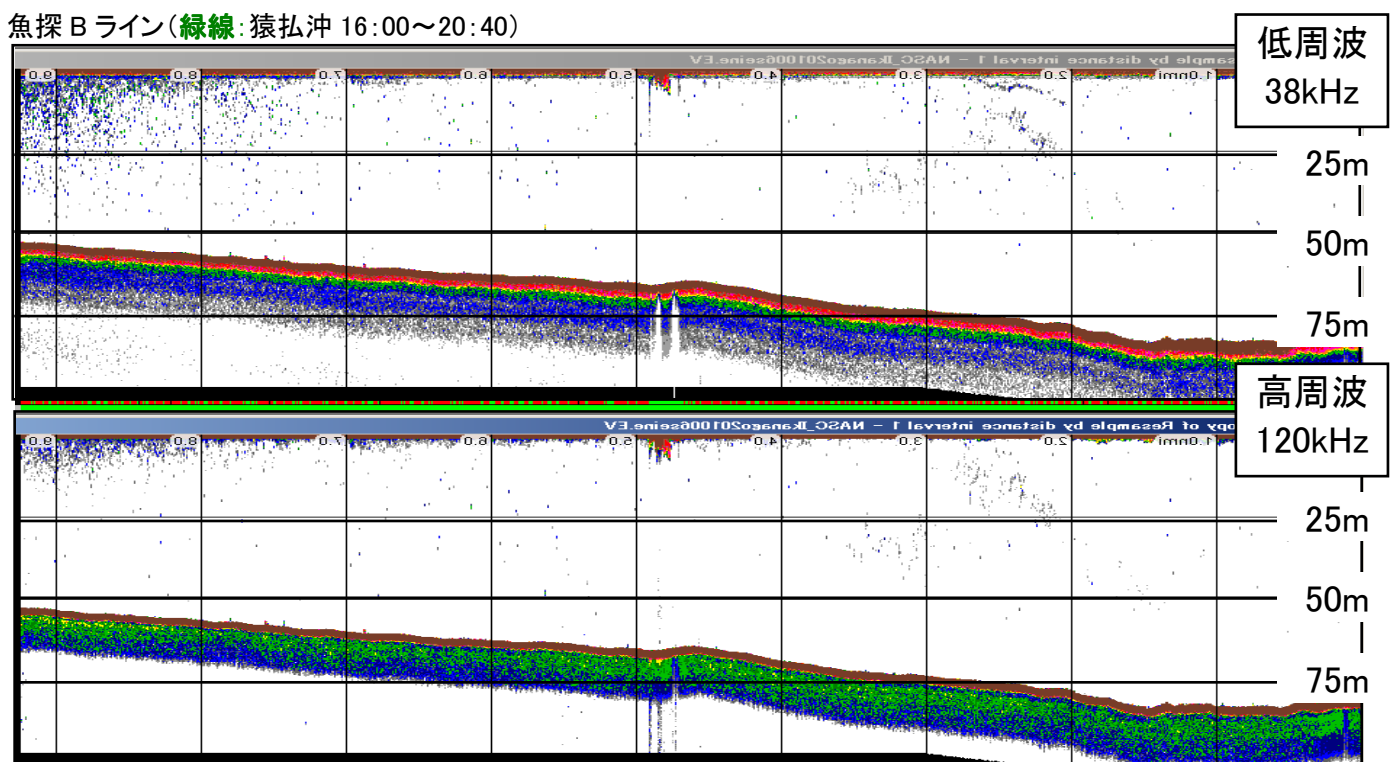
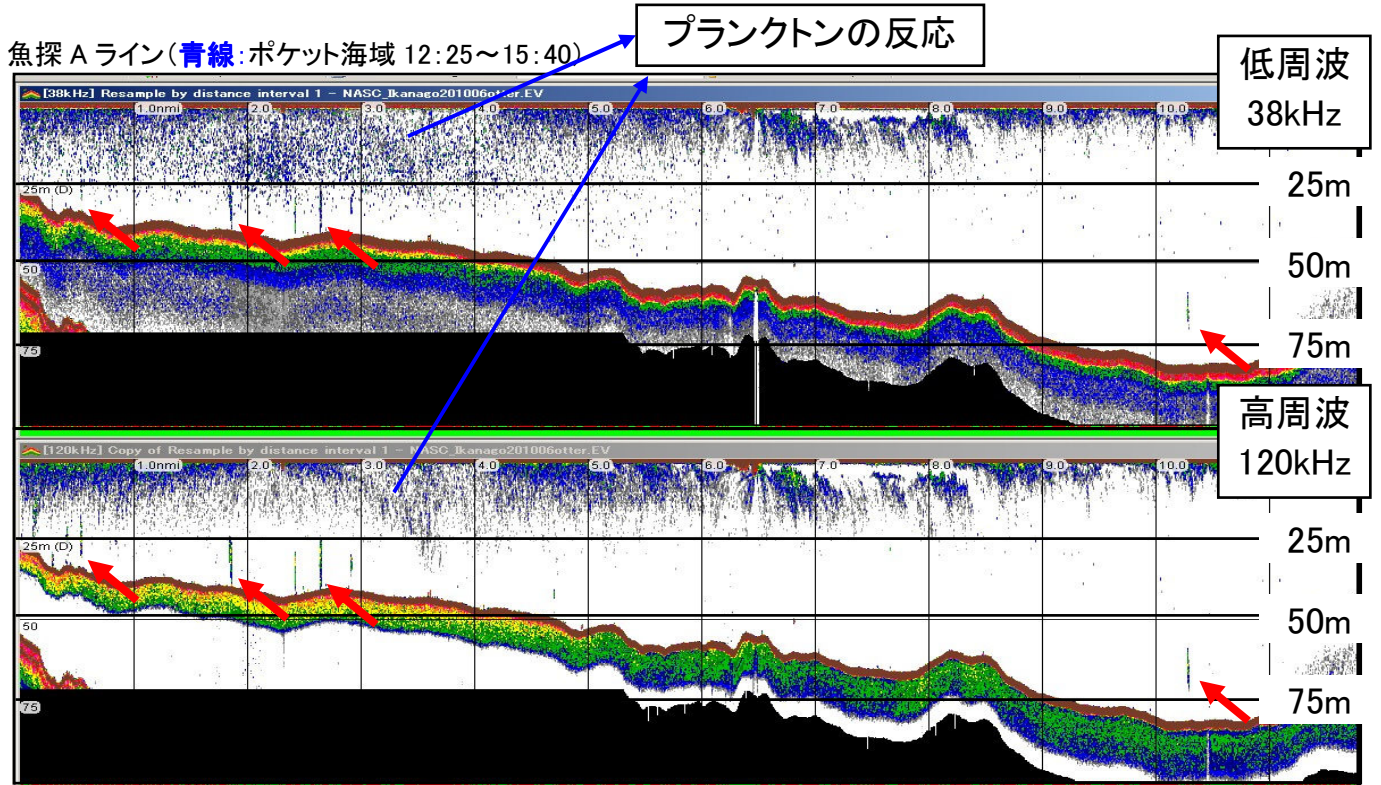


観測点 IS12 における水温鉛直分布図

**【魚探画像】**

ポケット海域では南西側で、表中層にイカナゴの餌となるプランクトンが集群していました。その下層にはイカナゴの群れと思われる棒状の反応(↑)がいくつか観察されました。北東側ではプランクトンの反応は少なく、魚群も少なくなりました。

猿払沖では、プランクトンの反応・魚群の反応は少なく、全体的に生物量は少ないようです。



### 【6月中の漁獲物サイズ組成】

6月3日～6月22日までの約3週間で、オッタートロール船にて3回の漁獲物調査をしました。そのサイズ組成をお知らせします。体長組成には2つのモードが見られ、体長22～24cmの3歳に加えて、体長18～20cmの2歳魚が多く見られています。しだいに3歳以上の大型魚の割合は少なくなり、6月22日の標本では約7割を2歳の小型魚が占めました。

